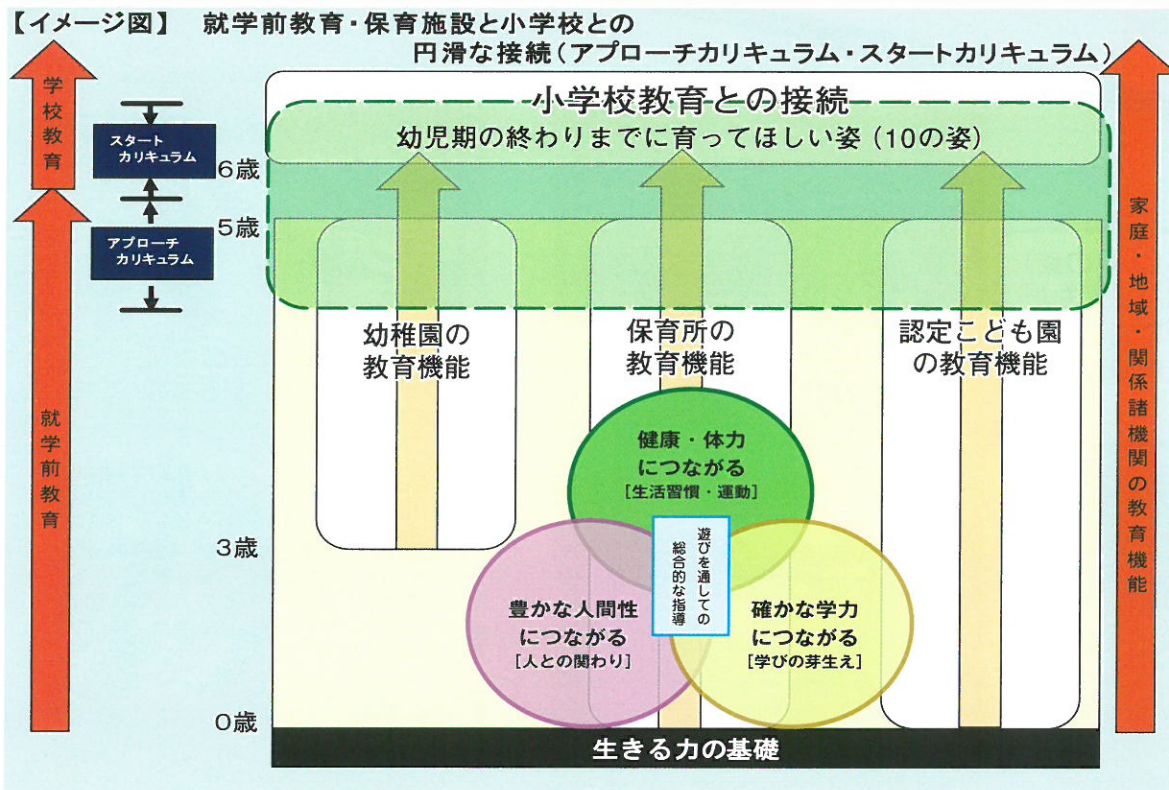


互いに協力し合い、手を携え、 中野のみんな子どもたちを育てましょう!!

「中野区就学前教育プログラム改訂版(理論編)」では、家庭、地域、就学前教育・保育施設、小学校が、それぞれの役割と機能を果たし、子どもたちに確かな発達と豊かな生活を築くために就学前教育・保育施設同士の「つながり」や就学前教育・保育施設と小学校との「つながり」をまとめました。また、平成31年度には、保育者による就学前教育・保育内容が系統的かつ学びの連続性を踏まえ充実したものとなるようにするため、「中野区就学前教育プログラム改訂版(実践編)」を作成し、区内に広く周知いたします。

「オール中野」で手を携え、子どもたちを育てていきましょう。

【イメージ図】家庭、地域、就学前教育・保育施設、小学校のつながり



「中野区就学前教育プログラム改訂版(理論編)」への声

幼稚園教諭の声

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を通して、就学前教育・保育施設から小学校へのスムーズな接続を充実させ、子どもたちがさらに安心して生活できるようにしていきます。

保育士の声

子どもたち一人ひとりが主人公となって、遊びの中で「生きる力の基礎」を培っている姿がわかります。安心して就学することができるように、オール中野の連携を大事にしています。

保育教諭の声

中野区内にある様々な教育・保育施設で生活した子どもたちが、同じ視点の中で育ち、小学校への就学を迎えます。その後の成長にもつながる大きな取組を、推進していきます。

小学校教諭の声

スタートカリキュラムを作成し、入学した子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、全教職員で取り組みます。さらに、10の姿を手掛かりにさらにスムーズな接続を行います。

区民の声

子どもたちの現在はもちろん、将来につながっていく魅力的なプログラムだと感じます。子どもたちを様々なつながりの中で育てていき、オール中野で子どもたちを育てましょう。

中野区就学前教育プログラム改訂版(理論編)概要版

幼稚園、保育所及び幼保連携型認定こども園においては、新しい幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が全面実施されました。

中野区では、0歳児から5歳児・小学校入門期の発達に応じて確実に経験させたい内容をまとめた「中野区就学前教育プログラム改訂版(理論編)」を作成し、就学前教育・保育で育まれた資質・能力をしっかりと小学校へと引き継ぎ、子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう、学びの連続性を確保した教育をさらに進めてまいります。

区民・保護者の皆様には、本プログラム(理論編)の作成の趣旨をご理解いただき、一層のご協力をお願いいたします。

小学校

小学校入学当初期

児童が安心して生活し、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができるように

小学校入門期

安心して生活し、自信をもって自己表現ができるように

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を手がかりに接続します。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を手がかりにスムーズな接続を行います。 ※10の姿を通じて、就学前教育・保育施設と小学校が円滑な接続を図ります。10の姿は到達目標ではありません。

5歳児

友達と力を合わせて生活を進めていけるように

4歳児

先生や友達と一緒に生活する楽しさを大切に

おおむね2歳児

じぶんでできた!を大切に

3歳児

自分なりの表し方や関わり方が十分に楽しめるように

1歳3か月から2歳未満

自分から関わろうとする姿を大切に

おおむね6か月未満

たっぷり飲んで、ぐっすり眠れるように

おおむね6か月から1歳3か月未満

身の回りへの興味の芽生えを大切に

小学校へのスムーズな接続

就学前教育・保育施設と小学校等が力を合わせて、子どもたちの「生きる力」の基礎を培うために、0歳児から5歳児・小学校入学当初期及び入門期の発達に応じて確実に経験させたい内容を3つの視点から示しました。就学前教育・保育施設では、遊びの中で子どもたちが発達していく姿を、幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）を念頭に置いて捉え、一人ひとりの発達に必要な体験が得られるような状況をつくりたり必要な援助を行ったりするなど、教育・保育を行う際に考慮しています。小学校入学当初期は、就学前教育・保育施設での幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）を手がかりにスムーズな接続（スタートカリキュラム）を行います。

就学前教育・保育施設



園で乗る初めての三輪車
「やってみよう」「順番だね」 ア エ



カレーを作るためのジャガイモ収穫
「全部でいくつかな」「どうやって調べようか」 カキクケ



園庭でいろいろな運動遊び
「明日もやろうね」 ア ウ



遊んだ遊具をみんなで片付け
「重いから2人で運ぼう」 イ ウ



近隣の小学校で給食体験
「小学校の給食おいしそうだね」 ア ウ



地域の高齢者との触れ合い
「おじいちゃんおばあちゃん楽しかったよ」 オ ケ コ



講師の先生に教えてもらって琴体験
「きれいな音だね」 オ コ

幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）
ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性
エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり
カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重
ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現

10の姿を基礎とする就学前教育・保育施設での教育・保育例

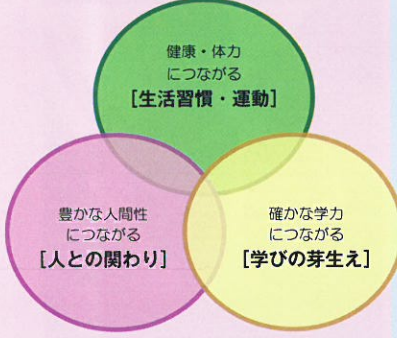
生きる力
【小学校入門期】
「安心して生活し、自信をもって自己表現ができるように」
【小学校入学当初期】
「児童が安心して生活し、主体的に自己を表現しながら学びに向かうことができるように」

6歳

0歳
生きる力の基礎

10の姿を基礎とする小学校での教育活動例

幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）を手がかりにしたスムーズな接続を行い、子どもたちが安心して学校生活に取り組むことができるようにし、その後の各教科等における学習に円滑に接続します。



入学式
「今日から1年生」「楽しみだな」 イ ウ



学校探検
「学校って広いな」「たくさん先生の教室があるね」 エ オ



交通安全教室
「手を挙げて渡ろう」「交通事故に気を付けよう」 オ ク



異年齢活動
「優しいお兄さんお姉さんだね」「楽しいな」 キ ケ



音楽の授業
「きれいだね」「先生あのね」 カ コ

小学校

子どもたちの成長を支えるつながり

就学前教育・保育施設や小学校での教育・保育の成果を生かし、子どもたちの成長を支える大きな力となるのは、家庭や地域の方々のご理解とご協力によるものです。

就学前教育・保育施設と家庭

- 子どもは自分が愛されていると感じ、安心して家庭生活を送ることで、家庭や就学前教育・保育施設で経験することに自信をもって向き合います。
- 健康、発達、友達との様子などについて、家庭と就学前教育・保育施設とが互いに伝え合い一緒に考え、成長を共に喜びことで健やかな成長を支えます。



就学前教育・保育施設や小学校と地域

- 子どもたちは地域行事に参加して、様々な活動を通して経験を積み重ねています。
- 「お話し会」「昔遊び」「野菜の育て方」など、様々な活動で園や学校、地域の方々とも協力し、子どもたちがより豊かな経験をする機会をつくってくださっています。



就学前教育・保育施設と小学校

- 区内の就学前教育・保育施設と小学校の教職員は、毎年、小学校へのスムーズな接続や連携のあり方について話し合っています。
- 近隣の就学前教育・保育施設と小学校では、子どもたちの様子を話し合い、交流の機会をつくっています。

